

こんねんどびようご
今年度標語

「わたしはあなたのために、^{しんこう}信仰が無くならないように^{いの}祈った。だから、あなたは立ち直ったら、^{きょうだい}兄弟たちを^{ちから}力づけてやりなさい」
(ルカによる福音書 22 章 32 節)

2023年9月3日 (No23)

主日礼拝

せいれいこうりんご じゆじつ
(聖霊降臨後 第13主日)

しかい たかさき すずむ そうがく まつむらのぶえ
司会 ; 高崎 晋 奏楽 ; 松村宣恵

ぜん そう
前 奏
さんびか
讚美歌
いの
祈り
せい
聖書

8 5 (二回)

ルカ福音書 9章 10~17節
(新約聖書121頁)

さんびか
讚美歌

1 8

せつ きょう
説教

「それはできません」

やまもとこういちぼくし
山本光一牧師

さんびか
讚美歌

3 5 7

けんきん かんじや いの
献金と感謝の祈り

しゅ いの
主の祈り

6 2

しょうえい
頌 栄 キリストの平和が (1・5)

しゅく とう
祝 祷

ほう こく
報 告

あたらし こと きた ひさ きた しょうかい
新しく来られた方・久しぶりの方の紹介

【本日の集会】

◇ 主日礼拝 14時 於 礼拝堂

【今週の集会】

◇ 一緒に聖書を読み祈る会
・9月6日(水) 午後7時 於 礼拝堂
〈ホセア書 9章 10~17節〉 (旧約聖書1413頁)
讚美歌 214 440

【次週の予定】

◇ 主日礼拝
・9月10日(日) 午後2時 於 礼拝堂
聖書 〈マタイ福音書 12章 1~8節〉
* わかちあい礼拝をします。
讚美歌 351 493

◇ 一緒に聖書を読み祈る会
・9月13日(水) 午後7時 於 礼拝堂
〈ホセア書 10章 1~10節〉 (旧約聖書 1414頁)
讚美歌 17 405

《9月の礼拝》

9月 3日 牧師説教 山本光一
9月 10日 わかちあい礼拝
9月 17日 わかちあい礼拝
9月 24日 信徒の証 山根耕平
10月 1日 牧師説教 山本光一

*9月は、牧師が長期間浦河を不在します。

【来週の礼拝司会者を決めましょう】

① 和田智子 ② 広瀬秀幸 ③ 吉田公子 ④ 伊藤知之
⑤ 山根耕平 ⑥ 岸澤恵美 ⑦ 高崎晋 ⑧ 山本潔
⑨ 早坂潔 ⑩ 荻野仁

《お知らせ》

◇ 奏楽をしてくださっている松村宣恵さんは、
忙しいのでしばらく奏楽をお休みします。
みんなで歌いやすい讚美歌を選びますので、元気に歌いましょう。
奏楽をしても良いと思われるかたは牧師までお申し出ください。みんなで手分けして奏楽をしましょう。

【集会統計】

| 集会名 | 出席者 | 献金 |
|-----------------|--------|--------|
| 主日礼拝 (8月27日) | 14名 | 5,139円 |
| 祈祷会 (8月30日) | 休会しました | |

頌 栄 キリストの平和が

1. キリストのへいわが わたしたちのころの
すみずみにまで ゆきわたりますように
5. キリストのゆるしが わたしたちのころの
すみずみにまで 行きわたりますように

「それはできません」
〈ルカ福音書 9章10～17節〉

神様の真理は、揺籃（ゆりかご）の死の影、墓場の命の光です。わたしたちは、教会にはイエスが共におられるのを忘れないことが大切だと思います。

今日の箇所は、ベトサイダという町はずれの野原でイエスが人々に教えていた時の話です。集会をしていると日が暮れはじめました。12人の弟子たちはイエスに「もう群衆を解散させてください」と言います。そうすれば、みんなは村に戻って宿をとり食事もそれぞれに取ることができると思ったのです。

ところが、その時イエスは「あなたがたが彼らに食べ物を与えなさい」と言われます。しかし、弟子たちは言います。「わたしたちにはパン5つと魚2匹しかありません」と、皆に食事を与えることはできませんと答えます。〈14節〉を見ると「男が5千人ほどいた」と書かれています。（男しかいなかった筈はありません。女性も子どももいたはずですから、その時の人数はずっと多かったはずです）

弟子たちが、男の人だけで5千人も居るのに「彼らに食事を与えなさい」と言われて、パン5つと魚2匹では「しかありません」と言うのがあたりまえですよね。

この物語は、ルカによる福音書が書かれたA.D. 80年頃の教会の様子がこの物語を書かせているのです。つまり、教会を続けていくことがあまりに大変なので、教会の人たちが「もう解散しよう」と思うほどだったことが反映されています。

教会はずいぶん大きな財産を持っている裕福な教会もありますが、たいいていはそうではありません。たいいていの教会は自分たちが持っているものを数えたら「(パン5つと魚2匹)しかありません」ということになるでしょう。しかし、そういう教会のほうが本物の教会だと思います。

教会で大切なのは、そして、わたしたち一人ひとりの信仰に大切なのは「持っていること」よりも「持っていないこと」なのです。イエスは、わたしたちが「持っていないこと」に応じて下さるのです。いや、わたしたちが「持っていない。それはできない」と思い込んでいるときに「あるではないか」と気づかせてくれるのがイエスなのです。

イエスは、弟子たちに5つのパンと2匹の魚を持ってこさせ、それらを天を仰いで祝福します。そうしたら「すべての人が食べて満腹した」〈17節〉と書かれています。

みんなは何に満腹したのでしょうか。解散したら満腹はしなかったと思います。みんなが満腹することが出来たのは「しかない。それはできない」ということをみんなが共有したからだと思います。会堂建築の時もそういう経験をしませんでしたか？

会堂建築の計画を見て、あまりに規模が大きく感じられて「パン5つと魚2匹しかありません。それはできません」と思いませんでしたか？でも「できない」が共有されたときに、それは、できることになるのです。神様の業は不思議ですね。

日本キリスト教団 浦河教会

週 報

No. 23

2023年9月3日



〒057-0022

北海道浦河郡浦河町昌平町東通 32

電話 (FAX) 0146-22-2904

牧師代務者 山本光一

電話 090-8274-7853